

第6学年 国語科学習指導計画

1. 単元名 筆者のものの見方をとらえ、自分の考えをまとめよう

教材名 「鳥獣戯画」を読む 高畑 勲（指導時期：12月上旬）

2. 単元の目標

- ・絵巻物に対する筆者の見解に興味をもち、文章を読もうとしている。
- ・筆者がどのようなことを根拠として考えを述べているのかを捉えている。
- ・筆者の意図と表現の工夫との関連について考えている。
- ・自分と他者とのものの見方や感じ方の共通点と相違点を明らかにし、自分の考えを深めている。
- ・文末表現や助詞の使い方など、語句に着目して読み、語句と語句との関係を理解している。

3. 指導計画（全6時間）

	時	おもな学習活動（第二課題は●）	◎指導上の留意点 ☆評価
一次	1	○『鳥獣戯画』を読むを読み、初発の感想を書く。 ○筆者の主張を捉える。 ○語句の意味調べをする。 ○題名から、絵を「読む」とはどういうことか考える。 ○p137の絵を見て感じたことをノートにまとめ、筆者のものの見方や感じ方との違いに気づく。 ○学習課題を確認し、学習計画を立てる。	◎本文を読む前に、p137の絵を提示し、絵を「読む」ことを体験させる。 ◎p137の絵について自分の感じ方をもちこたせることで、文章と主体的に向き合うことができるようにする。 ☆教科書p137の絵について興味をもち、自分の感じ方と筆者の見方や感じ方を比べながら読み、感想を述べている。
二次	2 ～ 3	○p144に示された視点に沿って、文章と絵を対応させながら読む。 ●絵や絵巻物に対する筆者の評価について要点をまとめよう。 ①絵の描きぶりについて ②絵巻の仕組みについて ③絵巻の筋について ④絵巻の歴史的価値・意義について ○表現や構成の工夫点を整理する。	◎筆者が、絵のどのような事実を根拠として、解釈したり評価したりしているのか、本文に線を引かせる。 ◎それぞれの表現や構成の工夫が、どんな効果を上げているかを捉えさせる。 ☆絵のどの部分を取り上げ、何に着目し、絵や絵巻物をどう評価しているかについて、読み取っている。 ☆文末表現や助詞の使い方などを意識して読んでいる。

三 次	5	○筆者のものの見方や感じ方と自分の感じ方を比べる。	◎既習の「着眼点」を意識させて、自分の考えをまとめさせる。
	6	●p140 19に対する自分の考えを 200 字程度でまとめる。 「この三匹の応援蛙のポーズと表情もまた、実にすばらしい。それぞれが、どういう気分を表現しているのか、今度は君たちが考える番だ。」 から、筆者が話題提起していることを捉え、この話題について自分なりに考える。 ○グループ内で意見を発表し、感想を述べ合う。 ○全体発表を聞き、感想を述べ合う。 ○学習をふり返る。	◎自分と友達の見方・考えを比べながら読むようにさせる。 ☆「鳥獣戯画」の絵について、自分の考えを文章にまとめている。 ☆文章を読んで考えた友達の意見を聞き、感想を述べる中で自分の考えを深めている。